



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！
コミュニティデザインの現代史 まちづくりの仕事を巡る往復書簡 著 饗庭 伸、山崎 亮(学芸出版社)



今号の
おすすめ
ライブラリーは
こちら！



都市計画家として著名な饗庭伸さんとコミュニティデザイナーの山崎亮さんが「まちづくり」・「コミュニティデザイン」の歴史とその本質を、先駆者の方々へのインタビューを交えながら書簡のやり取りという独特のスタイルでまとめています。

本書では、1920年頃を起点として「まちづくり」・「コミュニティデザイン」の歴史を辿っていくものであり、登場人物やまちづくり事例が多く登場するため読み進めるのが難しい印象を持ちますが、手紙を読むような形で読み進めることが出来るという面白い体験を味わえます。

マーチィが読み進めるうえでは、知らない人物やまちづくり事例が多く登場し実感が湧かない部分もありましたが、頁をめくっていくうちに理解が深まる不思議な感覚を味わいました。

当初は公民館が地域におけるまちづくり拠点として整備されてきた(それを目指していた)という過去の経緯は、驚いたとともに、現状との乖離に少し寂しさを感じました。

まちづくりは「トレンド」があり、色々な流れが循環しているということを感じました。読み進めるうちに、日本全体のまちづくりの歴史だけでなくがまちの歴史を紐解いてみたい気持ちになりました。

学術書スタイルが苦手な方にもオススメの一冊ですので、是非、ライブラリーで手に取ってみてください！

マーチィの掲示板

県・市町村人事交流職員研修を終えて

西田 康朗(館林市→群馬県県土整備部都市計画課企画推進係)

令和5年度から二年間、短い期間になりますがお世話になりました。

私は、主に市町村まちづくり支援、官民連携まちづくり、都市再生整備計画関連事業、「おっ!!まっちい～」の編集を主な業務として担当しておりました。

私が関わった令和5年度の「おっ!!まっちい～」からマーチィ自ら取材に行くようになり、私も様々なまちづくり取材をさせていただきました。今でも初めて取材に行った「フェーズフリー協会」、「イケ・サンパーク」は記憶に残っています。(詳細は第137号をご覧ください)

自ら取材に行くようになったこと等を通して、県内・県外問わず、まちづくりに関わる情報収集をする癖が身についたのも、「おっ!!まっちい～」があったからこそだと感じています。

この「おっ!!まっちい～」は、群馬県のまちづくりをより良いものとしていくため、先進事例の紹介や、現在取り組まれているまちづくり事例の紹介を行ってきました。そのような思いが、少しでも、誌面から伝わっていると幸いです。

最後になりますが、常日頃からおっ!!まっちい～の作成に当たり寄稿頂いている県内市町村の皆様、また取材に協力して頂いている皆様、本当にありがとうございました、この場を借りて御礼申し上げます。

善養寺 将大(吉岡町→群馬県県土整備部都市計画課都市計画係)

令和6年度の1年間、県都市計画課都市計画係でお世話になりました善養寺です。当初は新しい環境と経験したことのない業務に不安しかありませんでしたが、都市計画課の皆様や市町村担当者の皆様のおかげで、なんとか研修を終えることができました。ありがとうございました。

この1年間で一番時間をかけた業務としてはi-都市再生に関することです。実務研修に参加させていただき、GISソフトを使った都市構造可視化の手法や、全国の先進的な事例を知ることができました。また、群馬県における活用事例の作成や、i-都市交流会議に参加した際には様々な自治体の担当者と交流することができました。

1年間の県での研修をとおして、町の業務では学ぶことができないことを数多く経験させていただき、充実した時間を過ごすことができました。吉岡町に戻っても都市計画関係業務に携わることになりますので、学んだことを活かしていきたいと思います。今後もお力をお借りすることが多々あるかと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

マーチィの独り言



皆様に愛されてきた本誌『おっ!!まっちい～』も、創刊から26年目の春を迎えました。令和7年度は、川上、黒須、塚越、高野、山本、田子、田邊、白井の8名で担当させていただきます。

『おっ!!まっちい～』では旬の情報を選びすぐ皆さまにお伝えしてきましたが、なんと次号より紙面デザインを大幅リニューアル！皆様により手取りやすく作成いたします。

『おっ!!まっちい～』では、掲載する記事やイベント情報を随時募集していますので、希望がありましたら、お気軽にご連絡ください。

それでは、今年度もよろしくお願いいたします☆

